

北海道別海高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

| 全国の農業高校の行動計画                  |                           | 学校において令和元年度に重点化した取組の実現状況・課題                                                                                                                      |                                                                                                |                                                                                          |    |
|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 「5つの基本方針」                     | 「10の行動計画」                 | 行動計画の中で重点化する取組                                                                                                                                   | 実現状況                                                                                           | 課題                                                                                       | 評価 |
| I<br>グローバル教育<br>で人材を育てる<br>学校 | ①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。 | (1)資格取得やアグリマイスター顕彰制度を活用しながら達成感を感じる取組みを充実させる。<br>(2)プロジェクト学習の取組みを充実させ、課題解決学習の一層の強化を図る。<br>(3)実験実習の精選とねらいや評価を明確にし、授業レベルを向上させるとともに、生徒が自主的に学ぶ能力を育てる。 | (1)産業に関わる資格取得を推進した。<br>(2)専攻班を再編することで地域の課題に即した研究ができるよう強化を図った。<br>(3)関連機関の協力を得ることで授業レベルの向上を図った。 | (1)資格取得へ向けた指導時間の確保。<br>(2)教員の指導力向上のため積極的に研修を行う。<br>(3)実験・実習集を作成し全教員が一定レベルの実験実習が行えるようにする。 | 4  |
|                               | ②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。 | (1)自国や地域の産業と世界がどのようにつながっているかについて学習する機会を設ける。<br>(2)海外視察研修を通して、国際的な視野を醸成し、日本のすばらしさを実感できる学習を推進する。                                                   | (1)海外研修報告会を校内で実施して、地域農業との違いや共通点について学んだ。<br>(2)カナダへの酪農視察研修を実施した。                                | (1)継続して実施する。<br>(2)継続して実施する。                                                             | 3  |
|                               | ③「地域農業の生産を支える」教育を行います。    | (1)プロジェクト学習を強化し、地域農業の課題解決に向けた学習に取り組む。<br>(2)研修牧場での研修や農家委託実習を実施して、産業現場における実践力を養う。                                                                 | (1)地域の関連機関と連携したプロジェクト学習を展開した。<br>(2)飼養管理や搾乳に関する実習を行い実践力を養った。                                   | (1)関係機関とより連携を深める。<br>(2)様々な施設や設備で学ぶことで、実践力の更なる向上を図る。                                     | 4  |
| II<br>地域社会・産業に<br>寄与する学校      | ④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。 | (1)インターンシップをとおして、農業関連産業に対する理解を深める。<br>(2)酪農視察研修を実施して、先進的な技術や知識について理解を深める。                                                                        | (1)JAや牧場などでインターンシップを行い、農業関連産業に対する理解を深めた。<br>(2)地域の酪農産業関連施設の視察研修を実施した。                          | (1)学科の学習目標に即した実習先を選定する。<br>(2)視察先、実施時期を精査する。                                             | 4  |
|                               | ⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。    | (1)植樹事業への積極的な参加を奨励する。<br>(2)プロジェクト学習をとおして、地域の環境に関する課題解決に向けた教育を推進する。                                                                              | (1)北海道開発局と連携して全学年で植樹に携わった。<br>(2)バイオガスプラントの関連企業と連携したプロジェクトを行うことで地域農業の課題を学ぶことができた。              | (1)継続して実施する。<br>(2)関連機関との連携を強化して地域農業に対する理解を深める。                                          | 4  |
| III<br>地球環境を守り<br>創造する学校      | ⑥「食農」教育を推進します。            | (1)異年齢交流をとおして、食農教育を推進する。                                                                                                                         | (1)幼稚園を対象に食農教育に関する交流学習を行った。                                                                    | (1)交流学習を継続して実施する。                                                                        | 5  |
|                               | ⑦「地域資源を活用する」教育を行います。      | (1)地域資源を活用し、地域の自然や文化について理解を深める。                                                                                                                  | (1)バイオマス資源について学習することで、処理に苦慮している糞尿も地域資源となり得ることを学習した。<br>(2)農家の乳牛を借用し、管理実習をおこなった。                | (1)関連機関と連携したプロジェクト学習を行い、地域資源の研究の深化を図る。                                                   | 4  |
| IV<br>地域交流の拠点<br>となる学校        | ⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。     | (1)生命とのふれ合いの場（農場開放・食農教育等）を提供する。                                                                                                                  | (1)幼稚園や中学校との交流学習を行い食の大切さについて学ぶきっかけを作った。                                                        | (1)継続して実施する。<br>(2)継続して実施する。                                                             | 5  |
|                               | ⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。     | (1)別海町酪農後継者を育てる会との連携を図る。<br>(2)北海道開発局との連携を図る。<br>(3)プロジェクト学習において、専門機関との連携を図る。                                                                    | (1)支援を頂き海外視察研修を実施した。<br>(2)苗木の播種から植樹までの一連を学んだ。<br>(3)酪農家や関連機関と密に連携した。                          | (1)事前学習の充実をはかる。<br>(2)継続して実施する。<br>(3)連携をより深め、専門性の高いプロジェクト学習を行う。                         | 4  |
| V<br>地域防災を推進<br>する学校          | ⑩「地域防災を推進する」教育を行います       | (1)地域の自然災害や安全に関する教育を推進する。                                                                                                                        | (1)植樹を行い、洪水や土砂崩れの防止に役立つことを学んだ。                                                                 | (1)植樹の持つ多面的な機能について学習を深める。。                                                               | 4  |